

政治史 I

科目ナンバリング POL-103

選択 2単位

天日 隆彦

1. 授業の概要(ねらい)

近代日本における政治権力の生成と発展の過程をたどり、その特質を学ぶ。
主要テーマは政治史だが、外交史についても必要に応じて対象とする。

2. 授業の到達目標

近現代史の基礎知識を修得するとともに、歴史問題についてバランスのとれた判断力を身につける。なぜ日米開戦に至ったかについて説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

最終試験80%、授業態度(宿題提出を含む)20%。

4. 教科書・参考文献

教科書

北岡伸一 『日本政治史』 (有斐閣)

プリントを配布することもある。

5. 準備学修の内容

授業のポイントが理解できるよう宿題(主として選択・穴埋め式問題)を出すので、必ず提出すること。

6. その他履修上の注意事項

歴史の大きな流れをつかむことに重点を置く。

授業中の私語など、他の受講生の迷惑になる行為は厳禁する。

7. 授業内容

- 【第1回】 幕末から明治へ
- 【第2回】 明治憲法体制の成立
- 【第3回】 議会政治の定着
- 【第4回】 日清・日露戦争
- 【第5回】 帝国の膨張
- 【第6回】 政党政治の発展
- 【第7回】 国際協調と政党内閣
- 【第8回】 中間まとめ
- 【第9回】 社会主義と無産政党
- 【第10回】 満州事変
- 【第11回】 天皇機関説事件と二・二六事件
- 【第12回】 日中戦争
- 【第13回】 日米開戦への道1
- 【第14回】 日米開戦への道2
- 【第15回】 全体のまとめとテスト